

~~道~~からはじまる街づくり

2022年3月期  
決算説明会

2022年5月26日



日本道路株式会社  
(証券コード：1884)

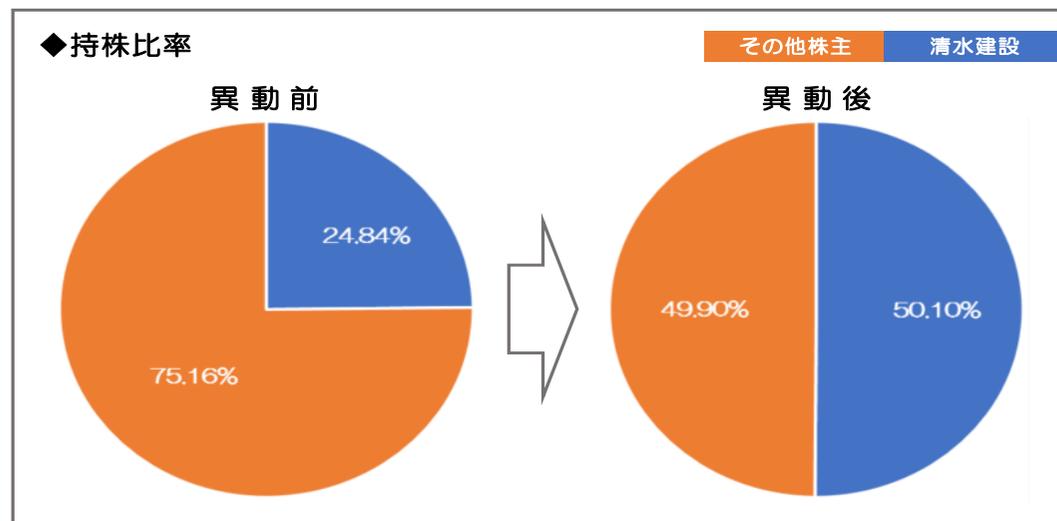
《目 次》

シミズグループの一員に	◆清水建設株式会社との連携強化	1
2022年3月期 決算概要	◆2022年3月期の事業環境・業績推移	2
	◆2022年3月期 決算実績	3
	◆セグメント別業績推移① 建設事業	4
	◆セグメント別業績推移② 製造・販売事業	11
	◆セグメント別業績推移③ 賃貸事業等	12
	◆当期純利益の増減要因分析	13
	◆貸借対照表	14
	◆キャッシュ・フロー計算書	15
2023年3月期 業績予想	◆2023年3月期 業績予想	16
	◆セグメント別取組方針① 建設事業	17
	◆セグメント別取組方針② 製造・販売事業	18
	◆セグメント別取組方針③ 賃貸事業等	19
	◆2023年3月期 当期純利益予想の増減要因分析	20
中期経営計画2019 (2019~2023年度)	◆「中期経営計画2019」の進捗状況	21
	◆資本政策について	22
	◆設備投資	23
	◆複合施設建設計画	24
参 考 資 料	◆会社概要	31
	◆工法案内	35
	◆日本道路グループの環境負荷低減に対する取り組み	37

## シミズグループの一員に

清水建設株式会社による当社株式に対する公開買付けの結果、2022年3月29日をもって、同社の連結子会社となりました。

プライム市場  
上場維持



清水建設株式会社と連携強化を図るため、両社協議スタート  
各分野において情報共有や人財交流を図ることで、効果を最大限に発揮し、かつ両社のリソースを有効に利活用し、事業領域の拡大と収益性の向上に効率的に取り組んでまいります。

# 2022年3月期 決算概要

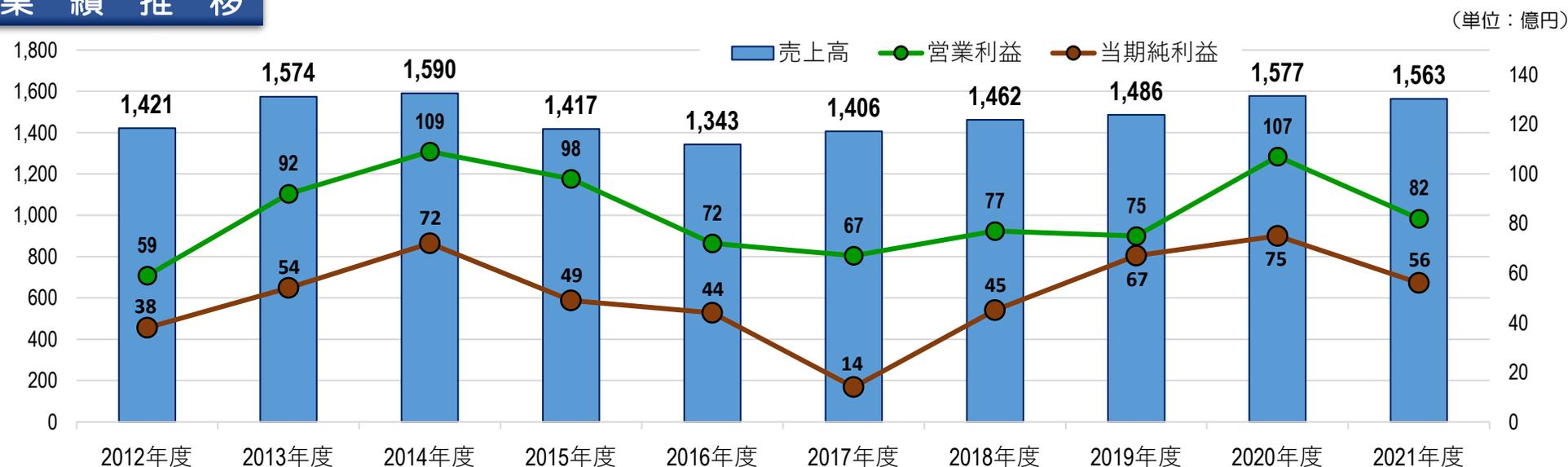
## 《2022年3月期の事業環境・業績推移》

### 事業環境

2021年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出、原材料価格の高騰、また、ウクライナ情勢等の地政学的な要因により、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループの主要事業である建設業界においては、政府建設投資が引き続き20兆円を上回る水準を維持し、民間建設投資も製造業を中心に一部回復傾向が見られたものの、企業の設備投資マインドは引き続き慎重化しました。

### 業績推移



## 《2022年3月期 決算実績》

- ・2019年度：独占禁止法関連損失引当金戻入額 1,661百万円を特別利益に計上（連結・単体）
- ・2020年度：当期純利益は過去最高益を計上（連結・単体）
- ・2021年度：原油価格の高騰により利益が減少（連結・単体）

（単位：百万円）

《 連 結 》	2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績		対前年比
受注高（建設事業）	126,322		136,764		120,340		△12.0%
総売上高	148,699		157,796		156,379		△0.9%
売上総利益	10.7%	15,867	12.2%	19,298	10.9%	16,968	△12.1%
販賣費及び一般管理費	5.6%	8,351	5.4%	8,521	5.6%	8,765	2.9%
営業利益	5.1%	7,515	6.8%	10,776	5.2%	8,202	△23.9%
経常利益	5.3%	7,853	7.2%	11,293	5.5%	8,582	△24.0%
当期純利益	4.6%	6,792	4.8%	7,598	3.6%	5,667	△25.4%

《 単 体 》	2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績		対前年比
受注高（建設事業）	110,674		118,602		105,591		△11.0%
総売上高	126,922		134,938		135,113		0.1%
売上総利益	9.5%	12,109	11.4%	15,354	9.8%	13,303	△13.4%
販賣費及び一般管理費	5.3%	6,809	5.3%	7,038	5.4%	7,310	3.9%
営業利益	4.2%	5,300	6.2%	8,315	4.4%	5,993	△27.9%
経常利益	4.5%	5,665	6.5%	8,705	4.7%	6,287	△27.8%
当期純利益	4.2%	5,353	4.4%	5,931	3.1%	4,175	△29.6%

## 《セグメント別業績推移①》

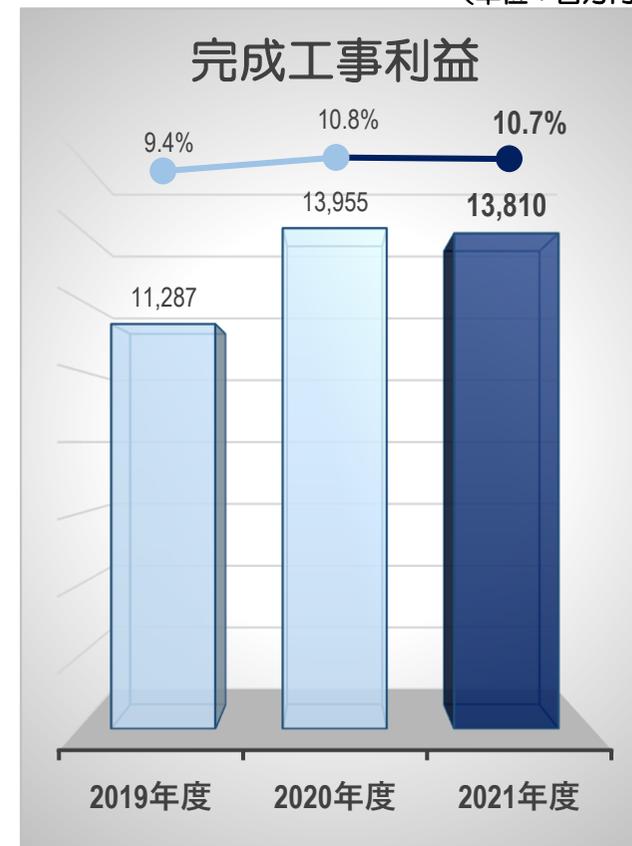
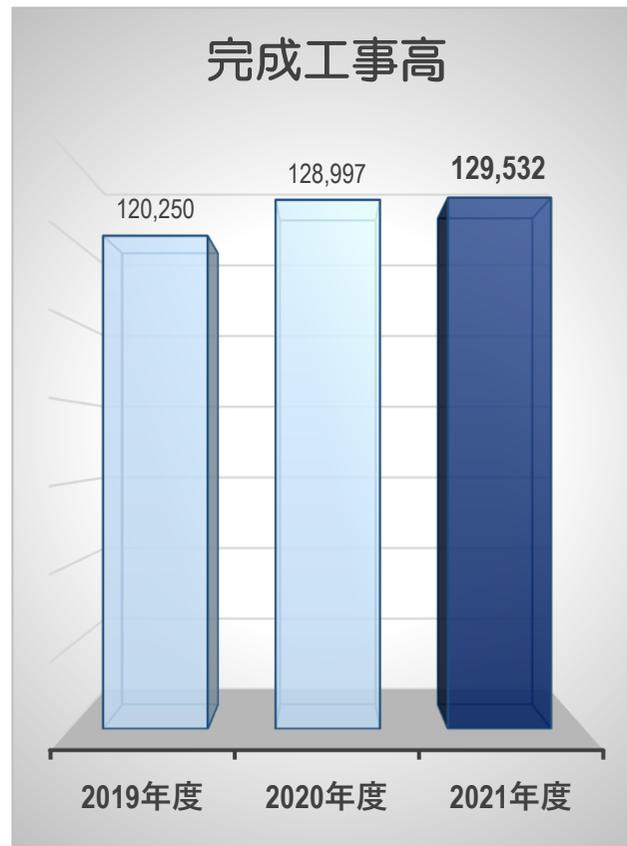
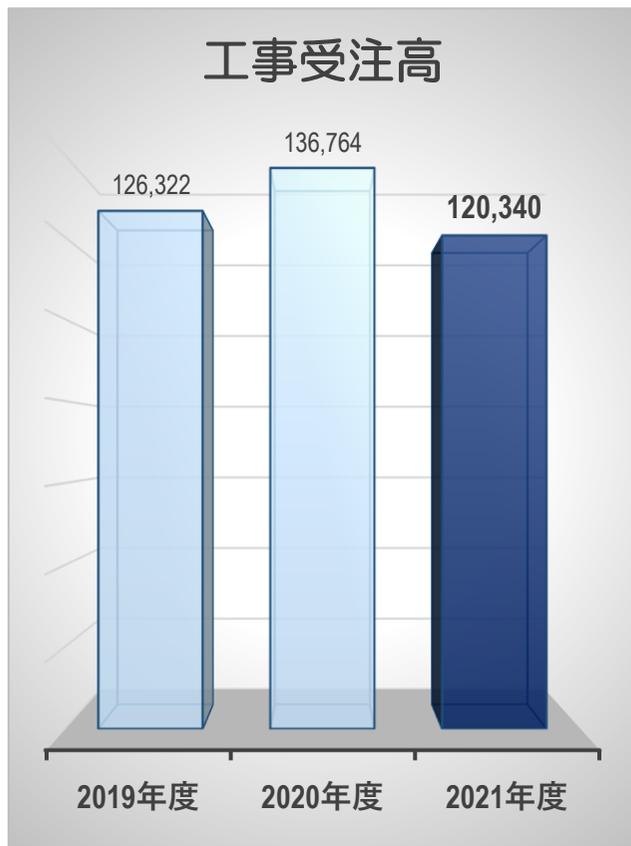
### 【建設事業】 【連結】

(単位：百万円)

《連結》	工事受注高	完成工事高	完成工事利益	
2019年度	126,322	120,250	9.4%	11,287
2020年度	136,764	128,997	10.8%	13,955
2021年度	120,340	129,532	10.7%	13,810

- 受注 ⇒ NEXCO、中央官庁工事受注が低調
- 完成工事高 ⇒ 消化が順調に推移
- 完成工事利益 ⇒ 原油高の影響があったものの、ほぼ2020年度並の利益率を確保

(単位：百万円)



【工事受注高①】 【単体】

工事受注高 工種別内訳

(単位：百万円)

工 種	2019年度		2020年度		2021年度	
	実 績	対前年比	実 績	対前年比	実 績	対前年比
舗 装 工 事	74,123	△6.0%	81,379	9.8%	72,106	△11.4%
土 木 工 事	35,521	17.1%	35,567	0.1%	32,999	△7.2%
建 築 工 事	1,029	29.2%	1,655	60.8%	485	△70.7%
合 計	110,674	0.6%	118,602	7.2%	105,591	△11.0%

- 2019年度：NEXCO、中央官庁工事受注が低調（舗装）  
：太陽光発電関連工事（55億円）を受注（土木）
- 2020年度：NEXCOを中心に官庁工事受注が好調（舗装）  
：清水建設とJVで京都競馬場工事（22億円）を受注（土木）
- 2021年度：NEXCO、中央官庁工事受注が低調（舗装）  
：大型案件の受注なし（土木）

2021年度 主な受注工事

発 注 者	工 事 名	工 事 場 所
国土交通省 関東地方整備局	令和3年度 東京国際空港B滑走路舗装改良工事	東京都
中日本高速道路株式会社	東海北陸自動車道 一宮木曾川IC～岐阜各務原IC間舗装補修工事	愛知県・岐阜県
防衛省 九州防衛局	黒毛島（R3）仮設プラント製作・設置工事（その5）	鹿児島県
株式会社三菱UFJ銀行	（仮称）MUFG PARK ランドスケープ工事	東京都
積水化学工業株式会社	群馬工場 駐車場整備工事	群馬県

【工事受注高②】 【単体】

工事受注高 得意先別内訳

(単位：百万円)

得意先		2019年度			2020年度			2021年度		
		実績		対前年比	実績		対前年比	実績		対前年比
官庁工事受注										
比率	官庁計	28%	31,523	△21.2%	42%	49,738	57.8%	32%	33,592	△32.5%
民間工事受注										
比率	民間計	72%	79,151	13.1%	58%	68,863	△13.0%	68%	71,999	4.6%
官庁・民間合計										
受注金額合計		110,674		0.6%	118,602		7.2%	105,591		△11.0%

- 2019年度：NEXCO、中央官庁工事受注が低調（官庁）  
：太陽光発電関連工事（55億円）を受注（民間）
- 2020年度：NEXCOを中心に官庁工事受注が好調（官庁）  
：コロナの影響（案件延期等）により低調（民間）
- 2021年度：NEXCO、中央官庁工事受注が低調（官庁）  
：コロナ禍において対前年比回復基調（民間）

【工事受注高③】 【単体】

- ・自動車関連工事：テストコース、工場、輸送物流施設の舗装および建築工事
- ・スポーツ関連工事：各種競技場、学校グラウンド、テニスコートなどのスポーツ施設工事
- ・物流関連工事：物流施設の用途に応じた多機能工法（高耐久・薄層）の舗装工事

重点3分野 工事受注内訳

(単位：百万円)

工 種	2019年度		2020年度		2021年度	
	実績	対前年比	実績	対前年比	実績	対前年比
自動車関連工事	3,148	41.7%	2,418	△23.2%	1,957	△19.1%
スポーツ関連工事	1,710	△9.9%	1,445	△15.5%	3,385	134.3%
物流関連工事	1,402	45.7%	2,141	52.7%	1,454	△32.1%
合 計	6,260	23.2%	6,004	△4.1%	6,796	13.2%

2021年度 重点3分野の主な受注工事

分 野	発 注 者	工 事 名	工事場所
自動車関連工事	トヨタ自動車株式会社	物流センター構内道路更新 稲沢) 部品センター構内道路更新	愛知県稲沢市
	本田技研工業株式会社	PGさくら直線コース補修	栃木県さくら市
	マツダ株式会社	防府工場(南門)西浦地区セキュリティ対策連絡通路新設・正門南門廻り周辺	山口県防府市
スポーツ関連工事	株式会社三菱UFJ銀行	(仮称) MUFG PARK ランドスケープ工事	東京都西東京市
	学校法人順天堂	順天堂大学さくらキャンパステニスコート新設工事	千葉県印西市
	学校法人花巻学院	花巻東高等学校グラウンド改修工事	岩手県花巻市
物流関連工事	SGリアルティ株式会社	佐川急便 太田営業所構内舗装修繕工事	群馬県太田市
	花王株式会社	花王栃木工場 南隣地開発に伴う第1工区工事	栃木県芳賀郡市
	福山通運株式会社	福山通運広島支店 駐車場舗装工事	広島県広島市

【完成工事高】 【単体】

完成工事高 工種別内訳

(単位：百万円)

工 種	2019年度		2020年度		2021年度	
	実 績	対前年比	実 績	対前年比	実 績	対前年比
舗装工事	74,264	3.7%	78,805	6.1%	76,352	△3.1%
土木工事	29,582	1.5%	31,982	8.1%	36,042	12.7%
建築工事	891	7.2%	1,290	44.8%	800	△38.0%
合 計	104,738	3.1%	112,078	7.0%	113,195	1.0%

- 2019年度：NEXCO工事の消化が順調に推移（舗装）
- 2020年度：NEXCO工事の消化が順調に推移（舗装）
- 2021年度：大型手持案件の消化が順調に推移（工事）

2021年度 主な完成工事

発 注 者	工 事 名	工事場所
国土交通省 北海道開発局	新千歳空港 誘導路新設外工事	北海道
東日本高速道路株式会社	北陸自動車道 R2長岡管内舗装補修工事	新潟県
松山市	坊っちゃんスタジアム内野グラウンド改修工事	愛媛県
学校法人順天堂	順天堂大学さくらキャンパステニスコート新設工事	千葉県
学校法人花巻学院	花巻東高等学校グラウンド改修工事	岩手県

【次期繰越工事高】 【単体】

次期繰越工事高 工種別内訳

(単位：百万円)

工 種	2019年度		2020年度		2021年度	
	実 績	対前年比	実 績	対前年比	実 績	対前年比
舗 装 工 事	44,645	△0.3%	47,218	5.8%	42,836	△9.3%
土 木 工 事	19,396	44.1%	22,981	18.5%	19,836	△13.7%
建 築 工 事	289	92.0%	654	126.3%	339	△48.1%
合 計	64,331	10.2%	70,854	10.1%	63,012	△11.1%

- 2019年度：太陽光発電関連工事が繰越（土木）
- 2020年度：NEXCOを中心とした官庁工事が繰越（舗装）  
：清水建設とJVで受注した京都競馬場工事が繰越（土木）
- 2021年度：NEXCO受注が低調だったため減少（舗装）  
：大型手持案件の消化が進んだため減少（土木）

2021年度 主な次期繰越工事

発 注 者	工 事 名	完成予想年月
国土交通省 関東地方整備局	令和3年度 東京国際空港B滑走路舗装改良工事	2022年12月
中日本高速道路株式会社	東海北陸自動車道 一宮木曾川IC~岐阜各務原IC間舗装補修工事	2023年4月
防衛省 九州防衛局	黒毛島（R3）仮設プラント製作・設置工事（その5）	2024年4月
株式会社三菱UFJ銀行	（仮称）MUFG PARK ランドスケープ工事	2023年6月
積水化学工業株式会社	群馬工場 駐車場整備工事	2023年12月

【海外事業】

海外現地法人受注

(単位：百万円)

会社名	2019年度		2020年度		2021年度	
	実績	対前年比	実績	対前年比	実績	対前年比
タイ日本道路株式会社	1,391	60.1%	1,512	8.7%	1,130	△25.3%
日本道路マレーシア株式会社	1,246	△48.9%	1,168	△6.2%	715	△38.8%
合計	2,637	△20.3%	2,680	1.6%	1,845	△31.2%

- ・両社ともにコロナの影響により想定していた工事案件が繰越になった  
タイ日本道路(株)は1期、2期工事に引き続き、タイ国工業省の自動車・  
タイヤ試験センター建設工事3期工事を受注

主な受注工事

会社名	区分	2020年度	2021年度
タイ日本道路株式会社	工事名	自動車・タイヤ試験センター建設工事2期	自動車・タイヤ試験センター建設工事3期
	得意先名	タイ国工業省工業規格院	タイ国工業省工業規格院
日本道路マレーシア株式会社	工事名	クアラルンプール国際空港第一滑走路、誘導路改修工事	ダッシュ高速道路新設工事
	得意先名	マレーシア空港運営会社(セパン)	ガガサンマヤ社

【タイ】自動車・タイヤ試験センター建設工事3期



【マレーシア】ダッシュ高速道路新設工事



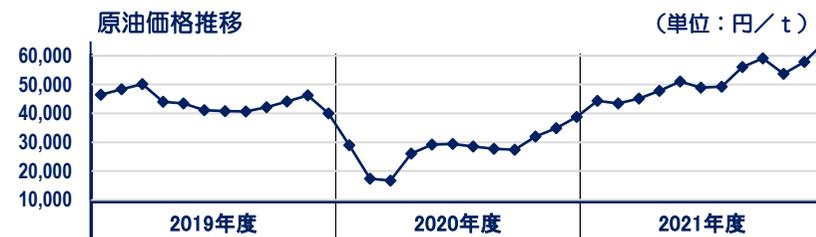
## 《セグメント別業績推移②》

### 【製造・販売事業】

(単位：千ト、百万円)

《 連 結 》	業界総数量	製造数量	シェア	製品売上高	製品売上利益	
2019年度	39,116	2,436	6.2%	20,955	15.5%	3,256
2020年度	39,396	2,564	6.5%	21,209	20.0%	4,240
2021年度	38,728	2,440	6.3%	20,217	9.2%	1,866

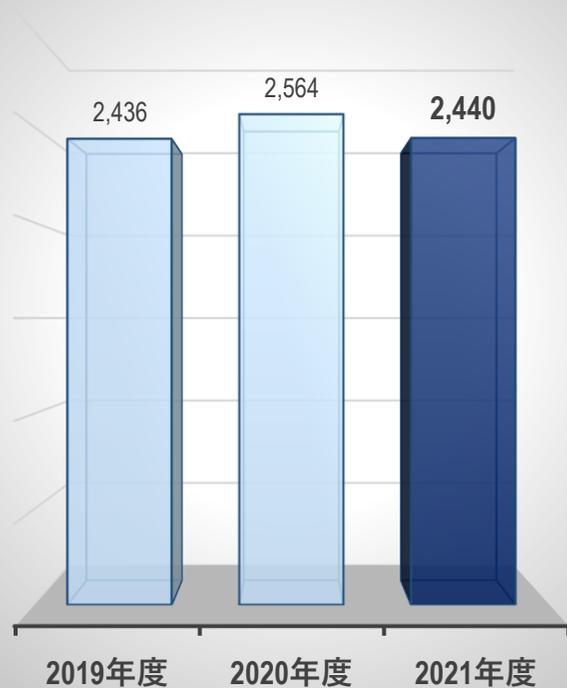
・2021年度 原油価格の高騰により売上利益減



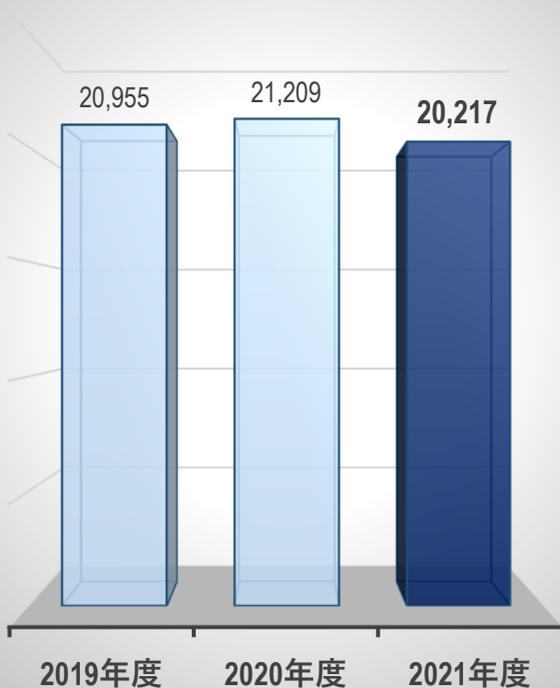
※トバイ原油FOB価格(ドル/バレル)に調整金を加減。  
為替レート(TTS)を乗じ、さらに1000/159(t換算)  
を乗じて計算した円/t

(単位：千ト、百万円)

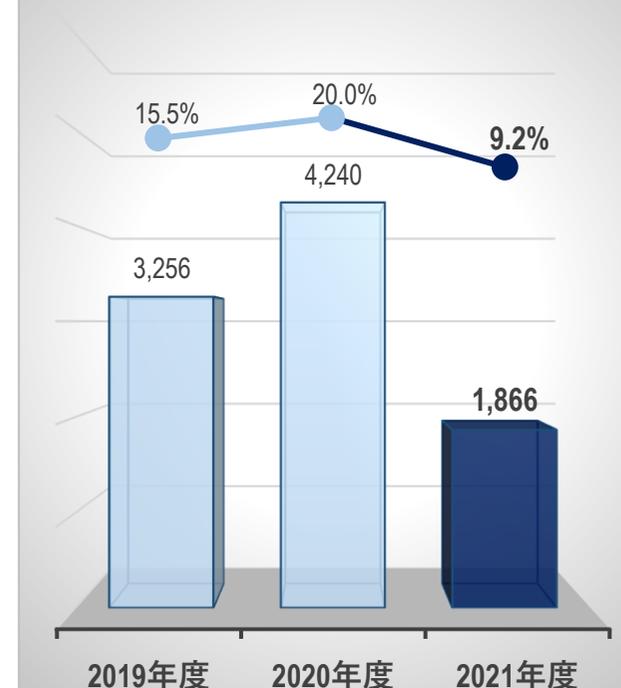
### 製造数量



### 製品売上高



### 製品売上利益



## 《セグメント別業績推移③》

### 【賃貸事業等】

(単位：百万円)

《 連 結 》	賃貸事業等売上高	賃貸事業等売上利益	
2019年度	7,493	17.7%	1,323
2020年度	7,589	14.5%	1,102
2021年度	6,630	19.5%	1,291

日本道路㈱

エヌディーリース・システム㈱

エヌディック㈱

スポーツメディア㈱

不動産業

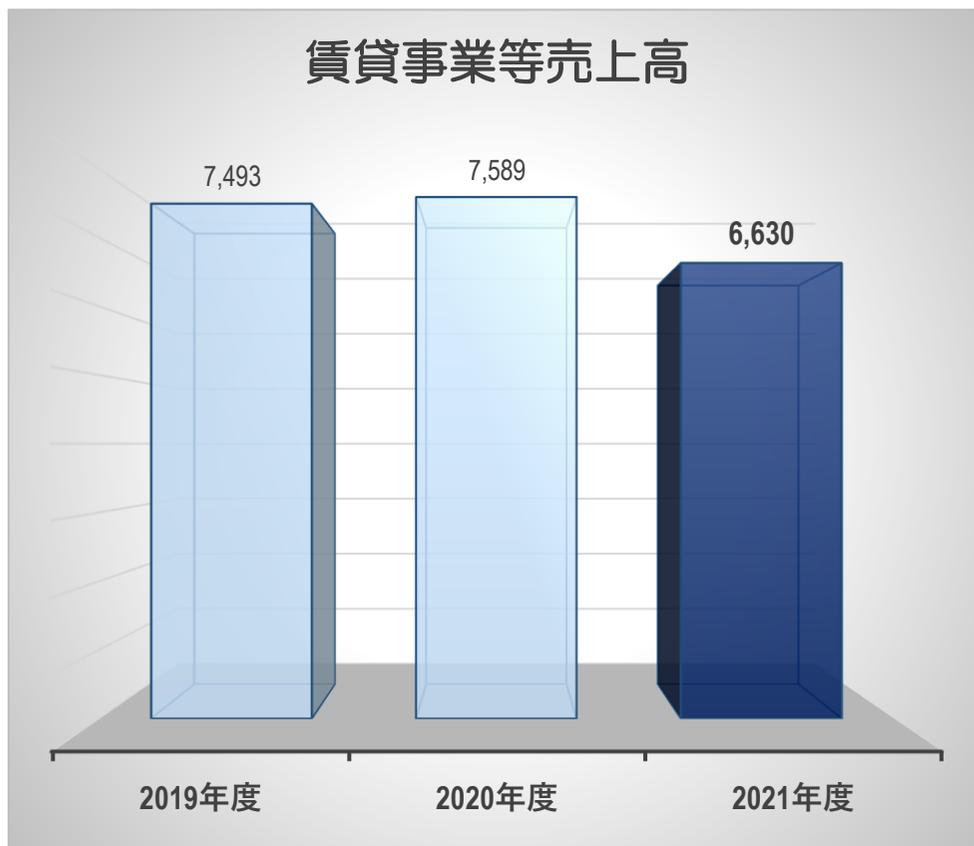
※2020年度 販売用不動産一括売却により利益△284百万円

総合リース業、各種資材販売、コンピュータソフトウェアの開発及び販売、事務用機器販売  
※2021年度 収益認識基準変更により売上高が減少

保険代理業

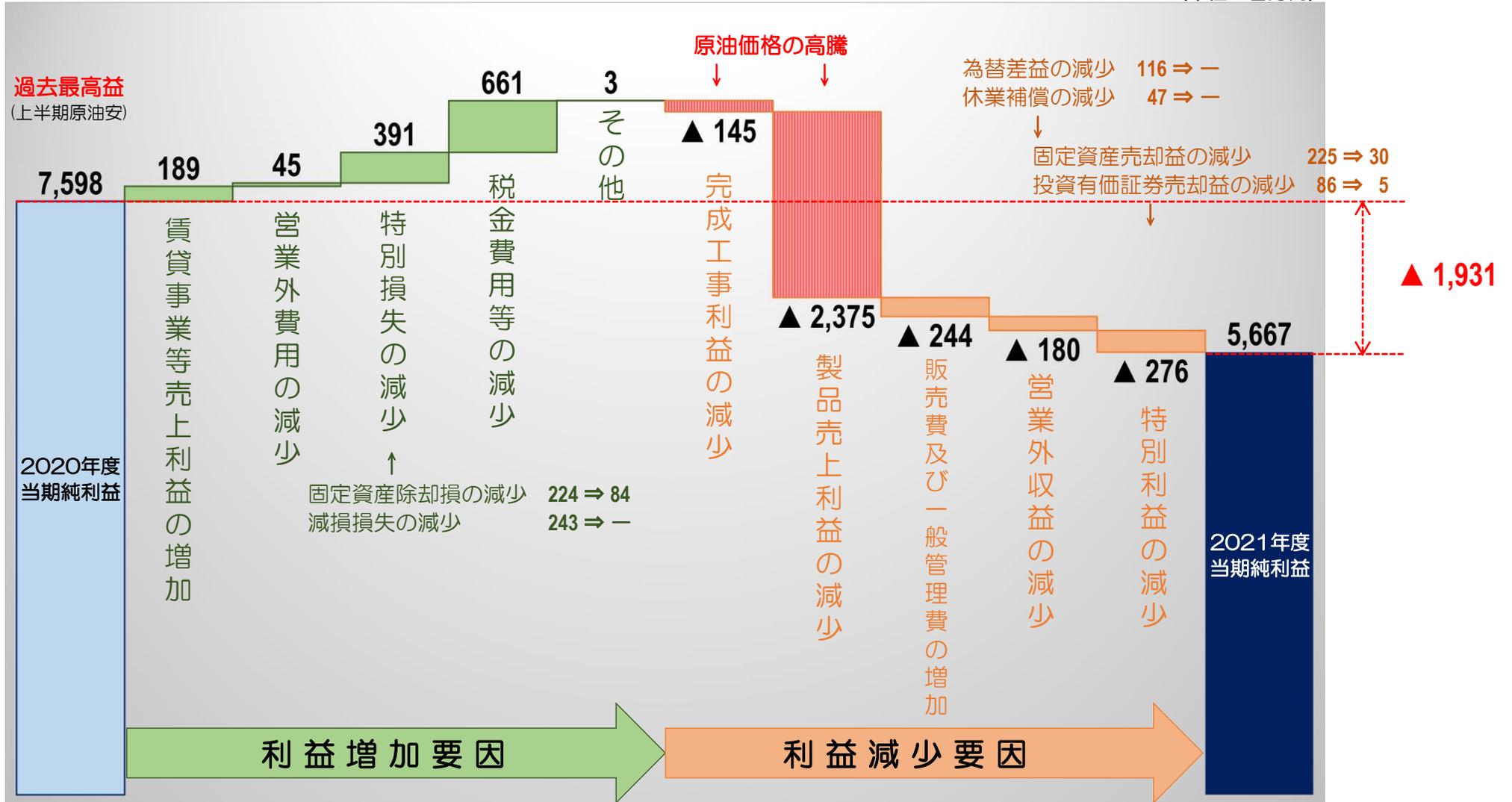
スポーツ施設等の企画・運営

(単位：百万円)



《当期純利益の増減要因分析》

(単位：百万円)



## 《2022年3月期 貸借対照表》

	2019年度	2020年度	2021年度	対前年増減
<b>資 産 の 部</b>				
<b>流動資産</b>	104,690	111,019	110,142	△876
現金預金	31,052	36,691	30,158	△6,533
受取手形・完成工事未収入金 電子記録債権等	56,960	60,978	67,898	6,919
リース債権及びリース投資資産	7,910	8,686	8,726	39
有価証券	3,999	0	0	0
棚卸資産	2,555	2,314	1,284	△1,029
その他	2,211	2,347	2,075	△272
<b>固定資産</b>	41,284	41,898	42,051	152
<b>有形固定資産</b>	33,532	33,623	33,805	181
建物・構築物	20,418	20,978	21,497	519
機械、運搬具及び工具器具備品	37,648	38,585	39,120	535
賃貸資産	4,280	4,079	4,037	△41
土地	16,811	16,491	17,697	1,205
建設仮勘定	1,021	373	47	△325
減価償却累計額	△46,648	△46,884	△48,595	△1,711
<b>無形固定資産</b>	482	517	1,320	803
<b>投資その他の資産</b>	7,269	7,757	6,925	△831
投資有価証券	6,454	6,989	6,085	△903
その他	814	768	840	71
<b>資産合計</b>	145,974	152,917	152,194	△723

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	対前年増減
<b>負 債 の 部</b>				
<b>流動負債</b>	49,538	55,483	51,102	△4,380
支払手形・工事未払金 電子記録債務等	39,432	38,603	38,134	△469
短期借入金	200	5,500	3,000	△2,500
引当金	237	398	282	△116
その他	9,668	10,980	9,685	△1,295
<b>固定負債</b>	10,949	5,200	6,084	883
長期借入金	9,500	4,200	5,200	1,000
退職給付に係る負債	1,198	548	522	△25
その他	250	452	362	△90
<b>負債合計</b>	60,487	60,684	57,187	△3,496
<b>純 資 産 の 部</b>				
<b>株主資本</b>	83,796	89,810	93,240	3,429
資本金	12,290	12,290	12,290	
資本剰余金	14,540	14,540	14,524	△15
利益剰余金	58,640	64,657	66,425	1,767
自己株式	△1,675	△1,677	0	1,677
その他の包括利益累計額	1,569	2,291	1,627	△664
非支配株主持分	120	131	138	7
<b>純資産合計</b>	85,486	92,233	95,006	2,773
<b>負債純資産合計</b>	145,974	152,917	152,194	△723

《2022年3月期 キャッシュ・フロー計算書》

(単位：百万円)

	2019年度	2020年度	2021年度	対前年増減
現金及び現金同等物の期首残高	37,061	35,052	36,691	1,638
営業活動によるキャッシュフロー	4,922	8,155	※1 2,360	△ 5,795
投資活動によるキャッシュフロー	△ 5,171	△ 4,904	※2 △ 5,140	△ 236
財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,760	△ 1,584	※3 △ 3,788	△ 2,204
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 2,008	1,638	△ 6,533	△ 8,172
現金及び現金同等物の期末残高	35,052	36,691	30,158	△ 6,533

【対前年増減の主な理由】

- ※1：税金等調整前当期純利益 8,532百万円の計上
- ※2：製造・販売拠点の拡充更新及び技術研究施設等を集約した建設用地の購入に伴う有形固定資産の取得等
- ※3：配当金の支払等

# 2023年3月期 業績予想

## 《2023年3月期 業績予想》

- ・主要資材(アスファルト)の価格高騰と価格転嫁、新型コロナウイルスの新たな変異株による感染再拡大などの懸念により、引き続き先行き不透明な状況で推移すると見込んでいる

(単位：百万円)

《 連 結 》	2020年度実績		2021年度実績		2022年度予想		対前年比
受注高（建設事業）	136,764		120,340		130,000		8.0%
総売上高	157,796		156,379		158,000		1.0%
営業利益	6.8%	10,776	5.2%	8,202	4.9%	7,700	△6.1%
経常利益	7.2%	11,293	5.5%	8,582	5.0%	7,900	△8.0%
当期純利益	4.8%	7,598	3.6%	5,667	3.2%	5,100	△10.0%

## 《セグメント別取組方針①》

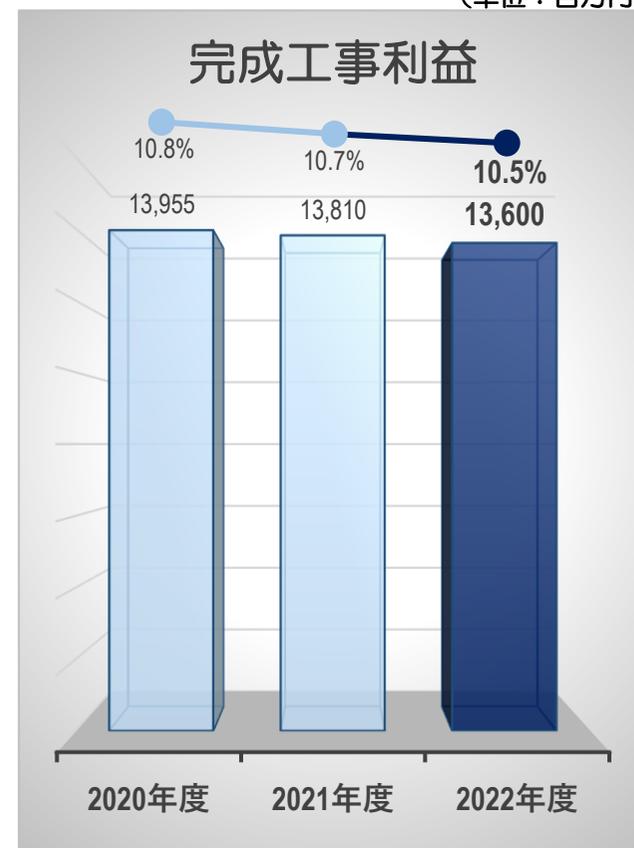
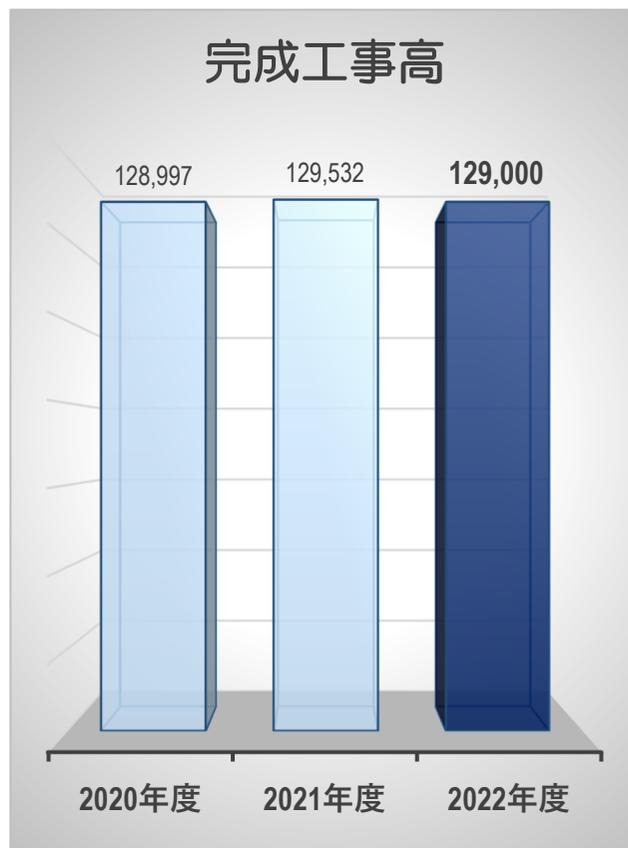
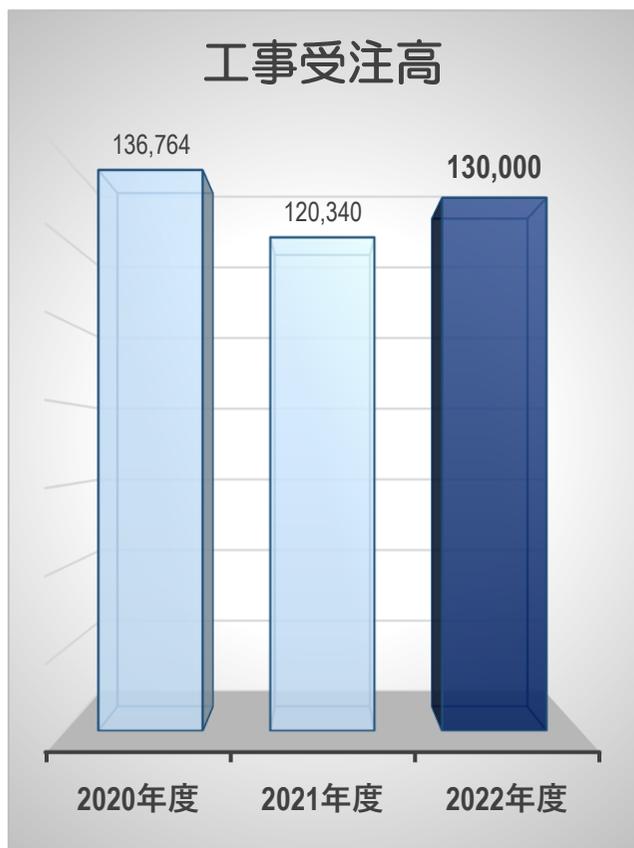
### 【建設事業】

(単位：百万円)

《 連 結 》	工事受注高	完成工事高	完成工事利益	
2020年度	136,764	128,997	10.8%	13,955
2021年度	120,340	129,532	10.7%	13,810
2022年度	130,000	129,000	10.5%	13,600

- 工事受注高 → 上半期に大型官庁工事の受注で手持工事量をしっかりと確保する
- 完成工事高 → 昨年からの繰越工事の消化と合わせ完成工事高を確保する
- 完成工事利益 → アスファルトの価格上昇の懸念があるものの「現場力アップ」により利益率10.5%を確保する

(単位：百万円)



## 《セグメント別取組方針②》

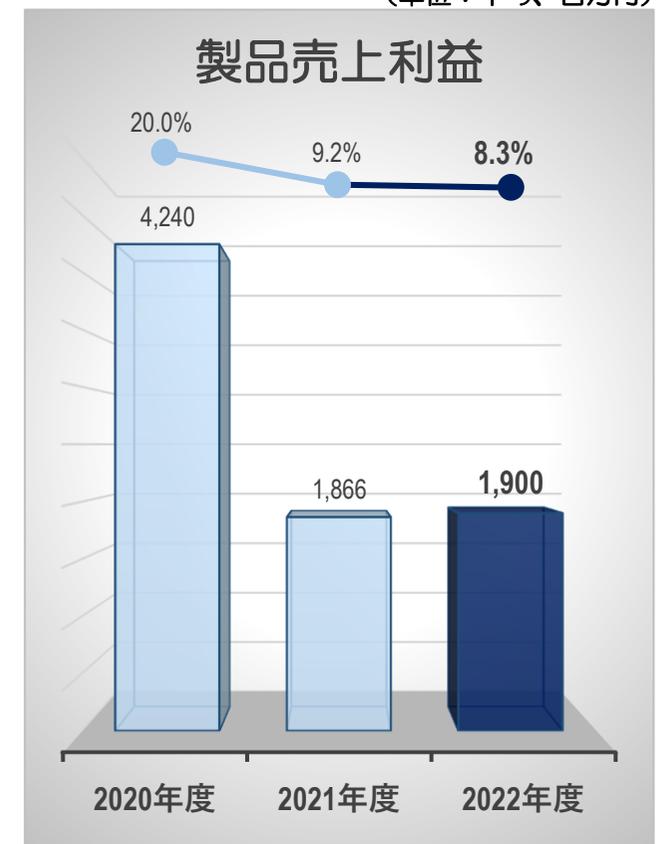
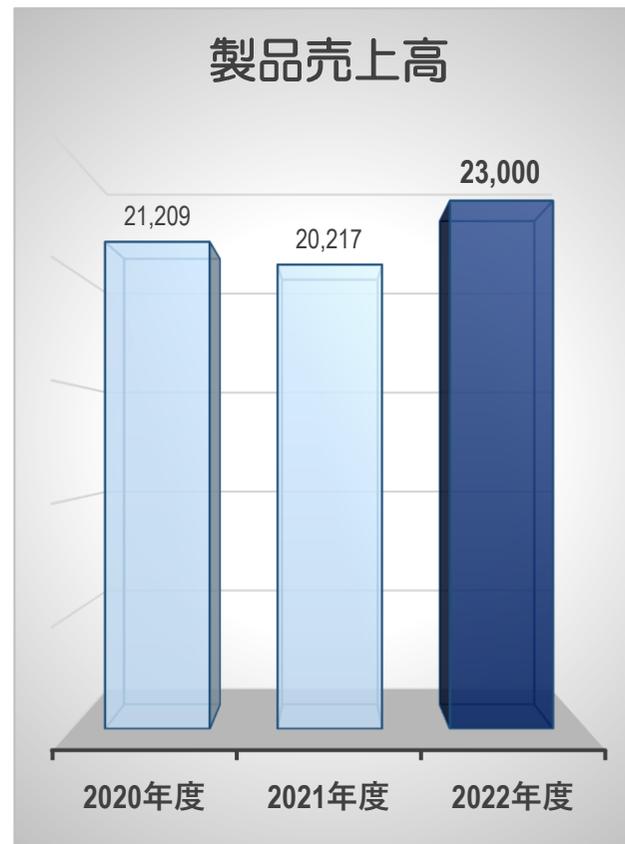
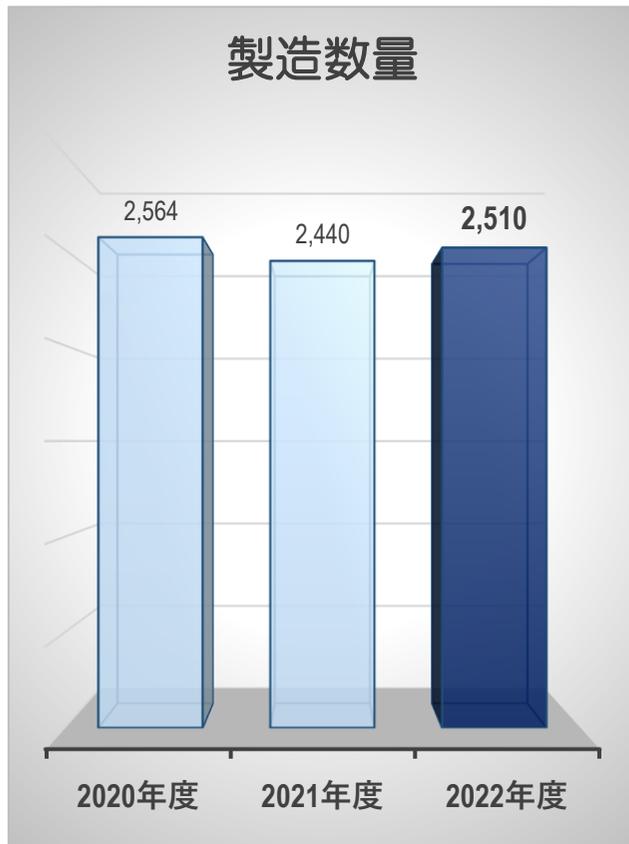
### 【製造・販売事業】

(単位：千ト、百万円)

《 連 結 》	業界総数量	製造数量	シェア	製品売上高	製品売上利益	
2020年度	39,396	2,564	6.5%	21,209	20.0%	4,240
2021年度	38,728	2,440	6.3%	20,217	9.2%	1,866
2022年度	39,400	2,510	6.4%	23,000	8.3%	1,900

- 主要資材(アスファルト)の価格上昇 ⇒ 価格転嫁
- シェアアップ→工事営業・地域舗装会社と連携したエリア戦略に基づく内部販売・外部販売製造数量の確保

(単位：千ト、百万円)



## 《セグメント別取組方針③》

### 【賃貸事業等】

(単位：百万円)

《 連 結 》	賃貸事業等売上高	賃貸事業等売上利益
2020年度	7,589	14.5% 1,102
2021年度	6,630	19.5% 1,291
2022年度	6,000	21.7% 1,300

エヌディーリース  
・システム

リース事業（デスクカー、トイレカー等 独自開発車輛の拡販）  
商事事業（プラスチック防護柵(システムカディ)等の拡販)  
※2021年度 収益認識基準変更により売上高が減少

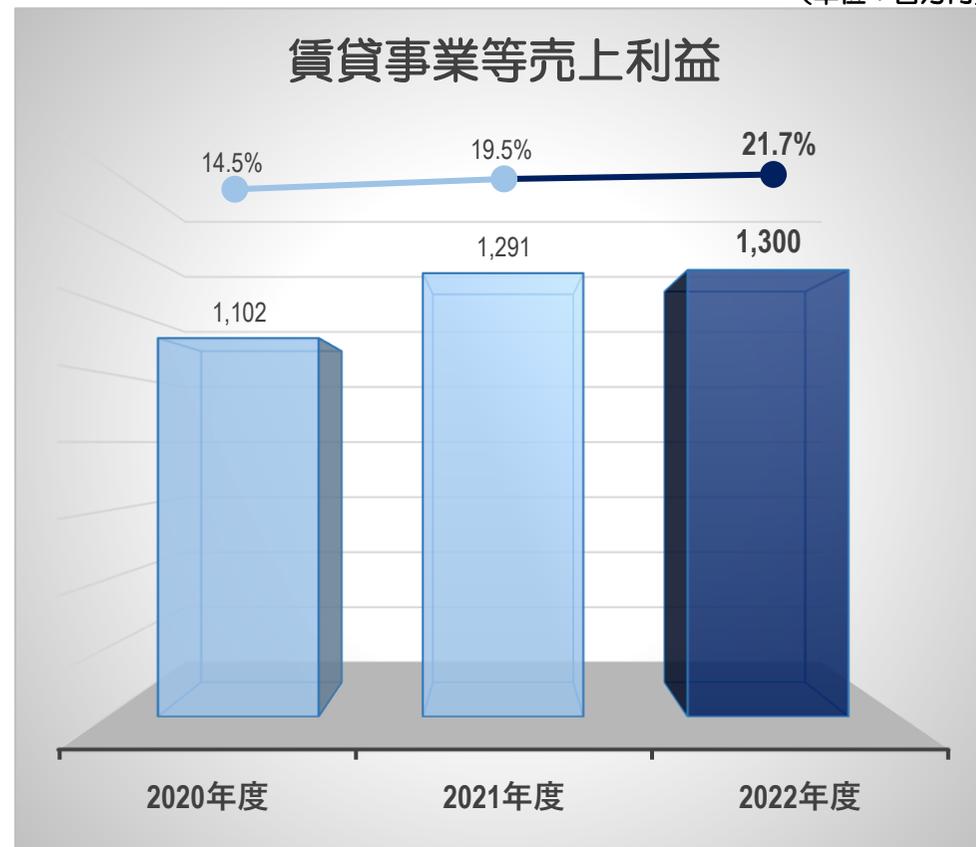
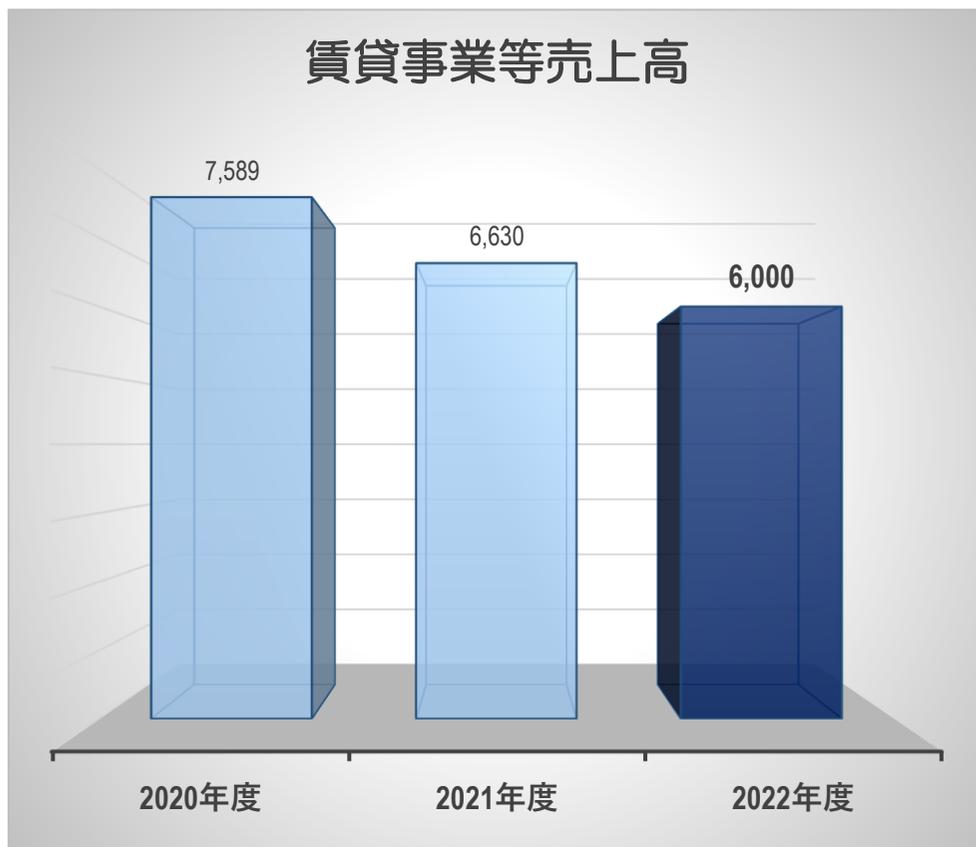
スポーツメディア

新たな健康維持増進施設関連のPFI/指定管理案件への参画

エヌディック

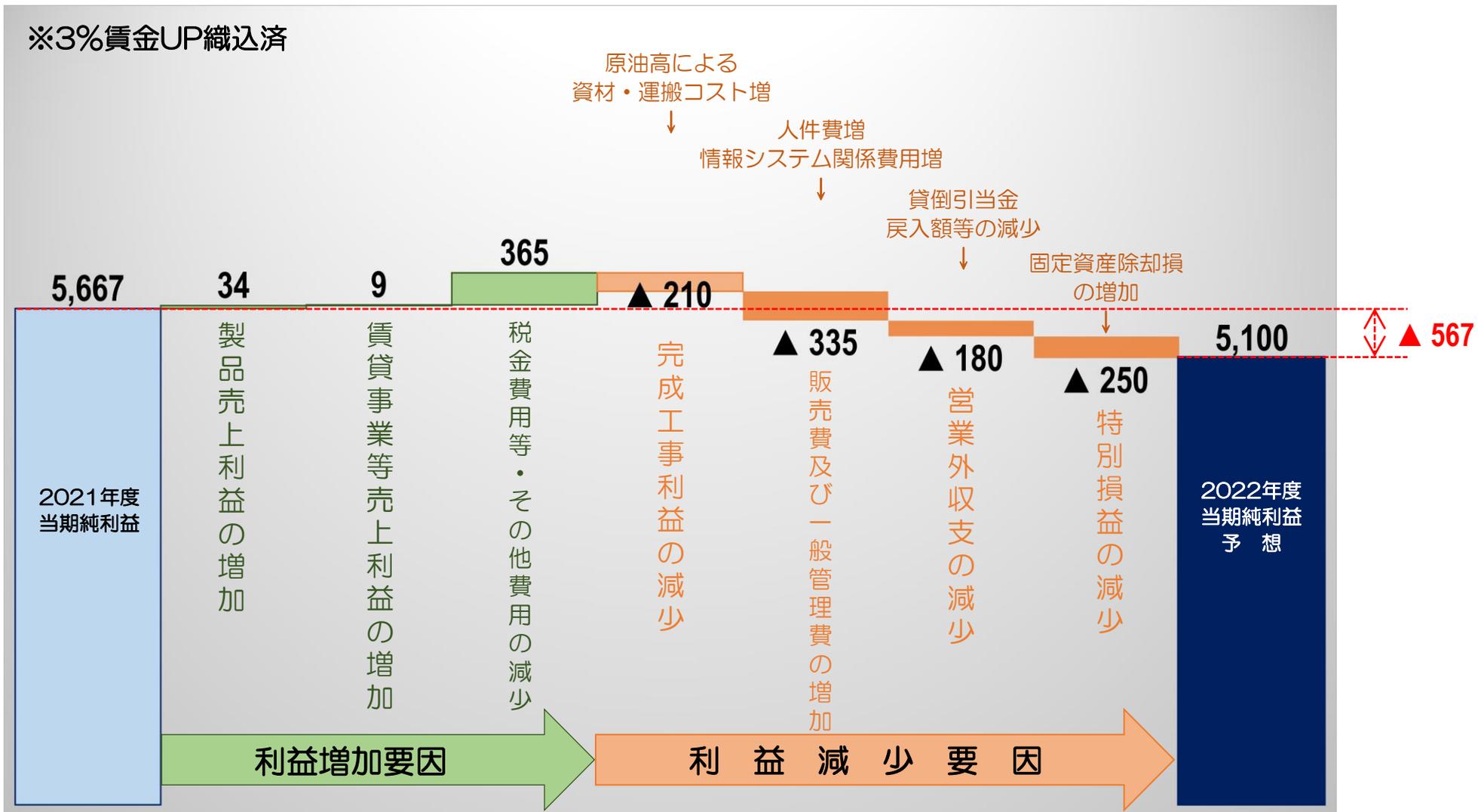
生命保険の拡販

(単位：百万円)



# 《2023年3月期 当期純利益予想の増減要因分析》

(単位：百万円)



# 中期経営計画2019 (2019～2023年度)

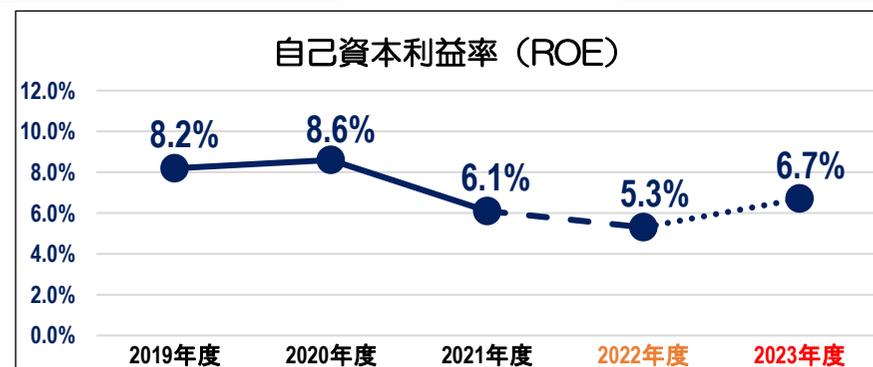
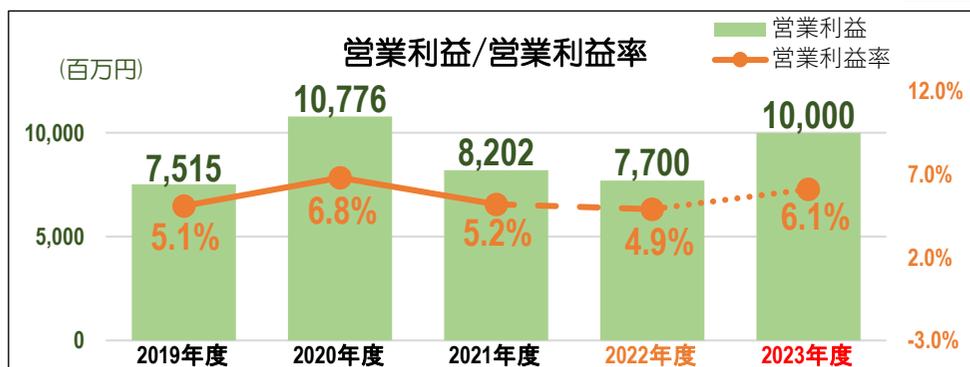
## 《「中期経営計画2019」進捗状況》

### 【経営数値目標（連結）】

- 中期経営計画2019で掲げた6つの重要課題に対する施策は順調に推移している。2022年度は引き続き原油の高騰が見込まれ、減益を予想しているが、2023年度の主要資材の価格動向を予想することは難しく、現時点では中期経営計画2019の修正は考えていない

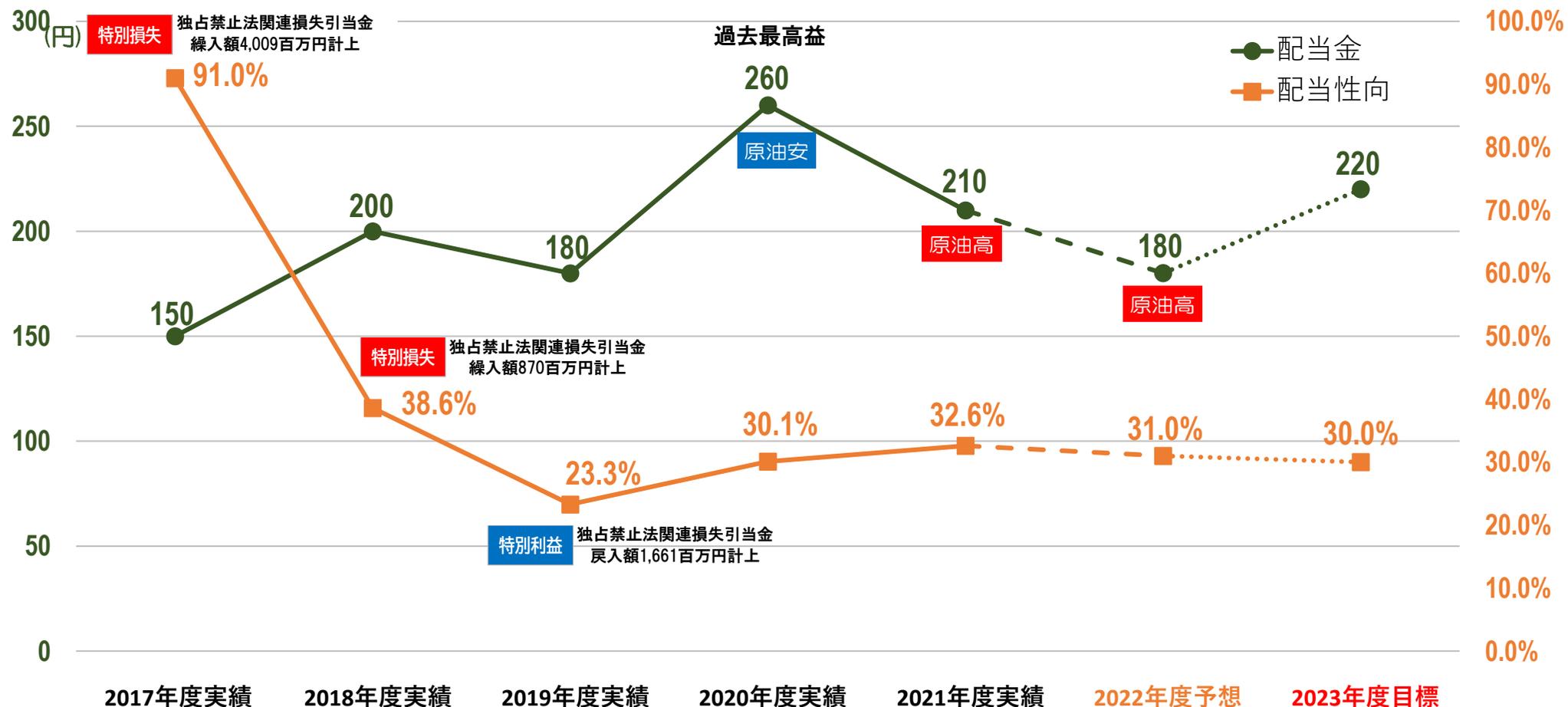
（単位：百万円）

	2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績		進捗率	2022年度予想		2023年度目標	
工事受注高	126,322		136,764		120,340		87.8%	130,000		137,000	
工事売上高	120,250		128,997		129,532		97.4%	129,000		133,000	
製品売上高	20,955		21,209		20,217		86.0%	23,000		23,500	
賃貸事業等売上高	7,493		7,589		6,630		88.4%	6,000		7,500	
総売上高	148,699		157,796		156,379		95.4%	158,000		164,000	
営業利益	5.1%	7,515	6.8%	10,776	5.2%	8,202	82.0%	4.9%	7,700	6.1%	10,000
当期純利益	4.6%	6,792	4.8%	7,598	3.6%	5,667	87.2%	3.2%	5,100	4.0%	6,500
ROE	8.2%		8.6%		6.1%		—	5.3%		6.7%	
配当性向	180円	23.3%	260円	30.1%	210円	32.6%	—	180円	31.0%	220円	30.0%



《資本政策について》

- 安定配当の維持と適切な利益還元を利益配分の基本方針としています
- 安定的・継続的な経営成績をベースに連結配当性向 30%を目処に配当を実施します



## 《設備投資》

【成長投資目標】 総額400億円（2019～2023年度 5年累計） ※賃貸事業向け設備投資は含んでおりません （単位：百万円）

	2019～2021年度		2022年度			2019～ 2023年度
	累計実施額	実施率	計 画	累計実施予想	累計目標実施率	累計目標
建設事業投資	※1 1,310	13.1%	※4 590	1,900	19.0%	10,000
製造・販売事業拠点整備投資	※2 6,607	27.5%	※5 4,200	10,807	45.0%	24,000
営業拠点環境整備投資	※3 3,329	83.2%	※6 1,510	4,839	121.0%	4,000
システム等情報投資	1,256	62.8%	900	2,156	107.8%	2,000
計	12,504	31.3%	7,200	19,704	49.3%	40,000

※1の主な内訳：建設機械の開発・購入等

※2の主な内訳：泉北りんかい合材センター 1,624百万円  
：上武アスコン更新 712百万円 等

※3の主な内訳：九州支店移転 360百万円  
：四国支店建替 320百万円  
：複合施設建設用地購入 1,227百万円 等

【四国支店 新社屋】



※4の主な内訳：建設機械の購入

※5の主な内訳：既設プラントの部分更新関連  
：中部地区AP用地 1,400百万円

※6の主な内訳：複合施設新設、全国営業所拠点整備等

【土浦市：複合施設建設イメージ】



# 複合施設建設計画

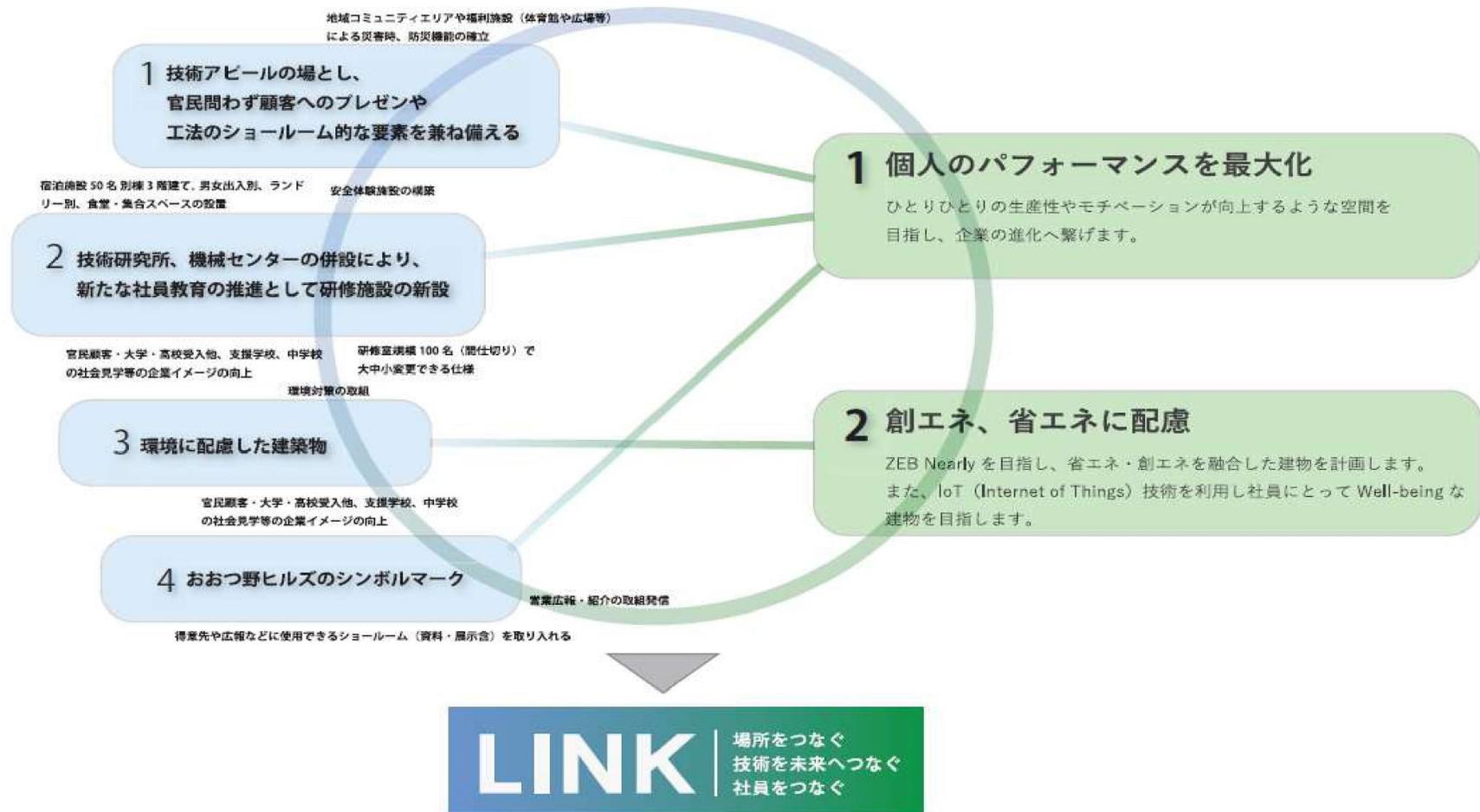
(仮称) 日本道路株式会社 土浦テクノパーク新築工事



## ◇コンセプト

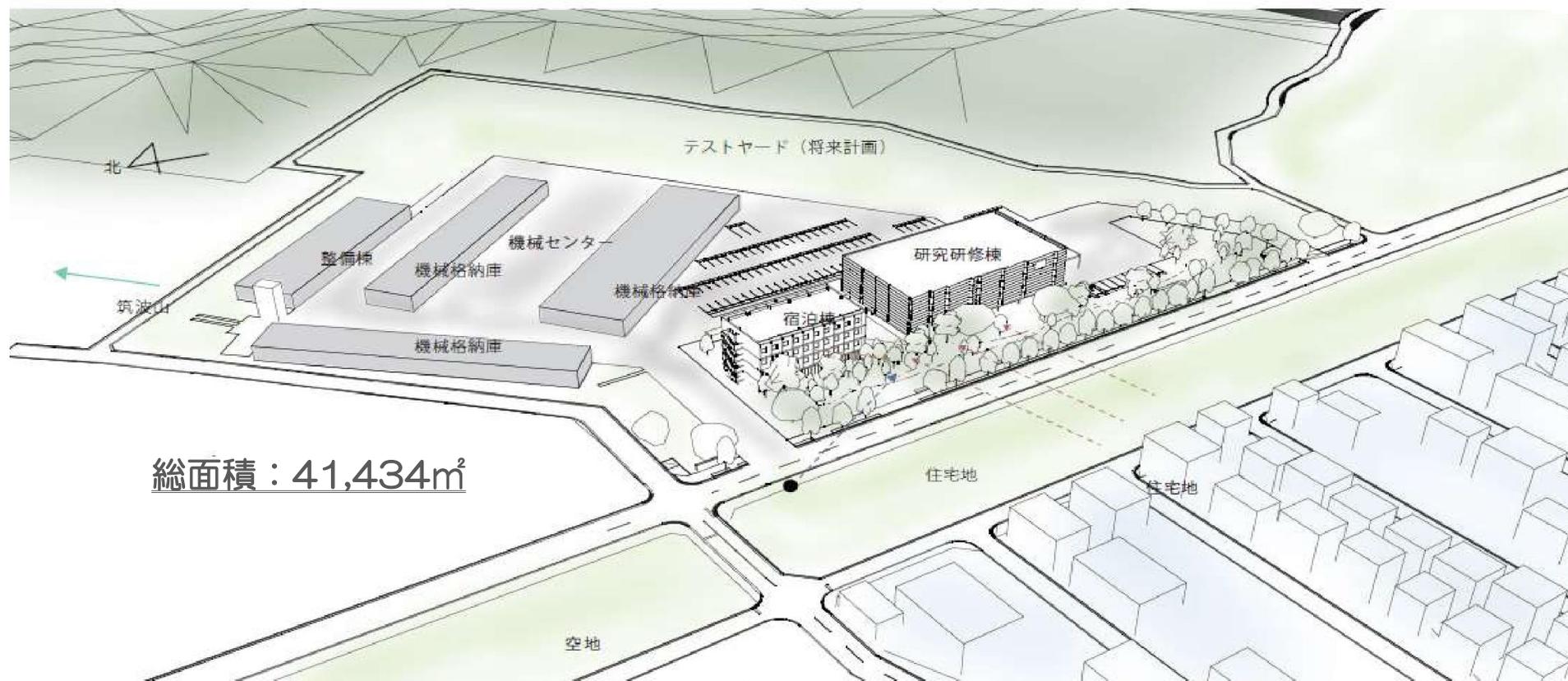
### 『技術の日本道路』の永続的な進化を実現するテクノパーク

技術・技能についてタイムリーな社員教育「研修する」から「習得する」を実現



## 配置計画 - 場所をつなぐ“LINK”

2024年4月～運用開始



### 周辺環境との調和

地区計画による前面道路からセットバックされた空間に舗装材のショールームや社員の憩いの場を計画し、緑豊かな土浦のまろとの調和を図ります。

### メインアプローチからの顔づくり

北側に向けたガラスで構成されたファサードは、土浦駅方面から近づくにつれて緩やかに表情を変えます。また、日の入り方で変わる陰影が時間の流れを感じられる、まちのシンボルになる建物を提案します。

### 将来スペースの確保

将来の舗装機械や展示スペースの増設に伴い柔軟に対応できるようにスペースを確保します。また、パンクの設置をするために約200mのテストヤードを設けます。

テクノパークー3



## アクティビティの中心となる大階段

大階段を中心に、フォーマルなコミュニケーションだけでなく、社員同士が自然と顔を合わせ何気ない会話が始まるようなインフォーマルなコミュニケーションが生まれるアクティビティを展開します。

## 働く場所を選択

自席に縛られず、社内全体をワークスペースとして自分で環境を選ぶことで、一日を通して個人の生産性を上げていきます。

## 環境シミュレーション

コンピューテーショナルデザインによる外装デザインはおだやかな光を取り込み、内外を穏やかに繋げます。



テクノパークー5

## 日本道路のテクノパーク

### ◇建築物の構造・規模等

	複合施設	宿 舎	整 備 庫	機械格納庫① 非自走式	機械格納庫③ 屋根付車庫	機械格納庫④ 片屋根車庫
構造	鉄骨	鉄筋コンクリート	鉄骨	スライド テント	鉄骨	鉄骨
階数	3F	4F	中2F	1F	1F	1F
面積 (㎡)	3,723.1	1,522.4	1,074.0	962	1,557.7	733.0
坪	1,126	461	325	291	471	222

研究研修棟	PH階		19.1 ㎡
	3階		1,259.6 ㎡
	2階		1,299.6 ㎡
	1階		1,144.8 ㎡
宿泊棟	4階	宿泊室17室	380.6 ㎡
	3階	宿泊室17室	380.6 ㎡
	2階	宿泊室17室	380.6 ㎡
	1階		380.6 ㎡
			宿泊室51室





テクノパーク-7

参考資料

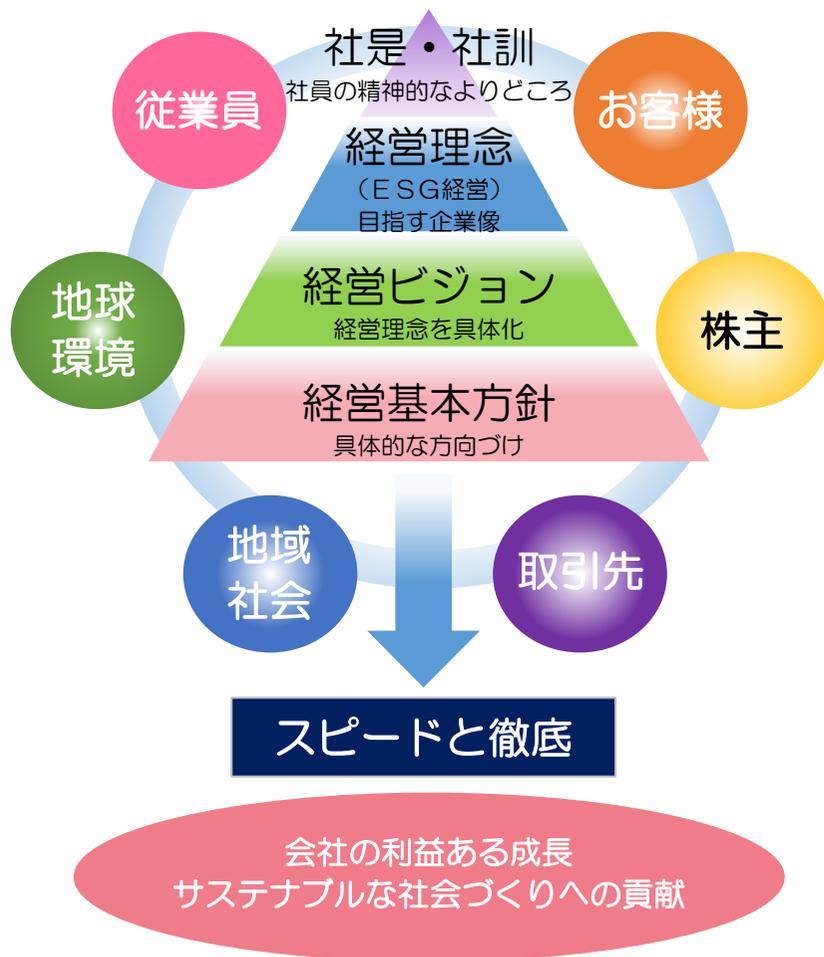
## 《 会社概要 》

会 社 名	日本道路株式会社
設 立 年 月 日	1929年（昭和4年）3月10日
本 社 所 在 地	東京都港区新橋一丁目6番5号
代 表 者	代表取締役社長 石井 敏行
資 本 金	122億 9,026万円
従 業 員 数	1,688名
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所プライム市場
発行可能株式総数	38,000,000株
発行済株式総数	8,789,268株
単 元 株 式 数	100株

※2022年3月31日現在（代表者・上場証券取引所は5月25日現在）



《 企業理念 》



【社是】

「創意研鑽」「協調親和」「信用高揚」

『論語と算盤』（清水建設社是）

【社訓】

- 一、創意を活かし 技術の向上と業務の改善に努めよう
- 一、責任を自覚し 緻密な計画と果敢な実行に徹しよう
- 一、誠意を尽くし 相互の協調と秩序の確立に努めよう
- 一、身心を健全にし 明朗な職場と幸福な家庭を築こう
- 一、社業に専念し 会社の繁栄を通じて社会に貢献しよう

【経営理念】

ESG経営を推進することによって、社会から信頼され、存続を望まれる企業になるとともに、持続可能な社会づくりに貢献する

【経営ビジョン】

- 「従業員を大切にできる会社」
- 「道路建設を通じて社会に貢献する」
- 「コーポレートガバナンスの充実」

【経営基本方針】

スピードと徹底を合い言葉に、揺るぎない技術力で「道づくり」「街づくり」に貢献するSDGs企業を目指す

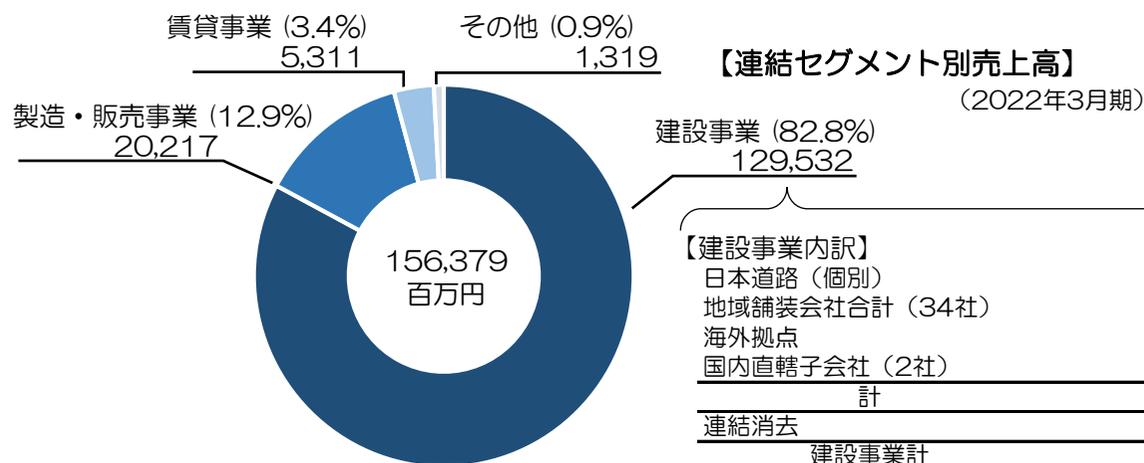
## 《日本道路グループのビジネス》

### 【主な事業】

建設事業	舗装・土木・建築工事、その他建設工事全般に関する事業
製造・販売事業	アスファルト合材・乳剤、その他舗装用材料の製造・販売・リサイクルに関する事業
賃貸事業	自動車・事務用機器等のリース業務等
その他	不動産業、コンピュータソフトウェアの開発及び販売、事業用機器の販売、保険代理業、スポーツ施設等の企画・運営他

### 【事業拠点】

本 社	東京都港区
	技術研究所 東京都大田区
	東京機械センター 茨城県つくば市
支 店	東京支店 東京都文京区
	北関東支店 埼玉県さいたま市
	中部支店 愛知県名古屋市
	関西支店 大阪府大阪市
	四国支店 香川県高松市
	中国支店 広島県広島市
	九州支店 福岡県福岡市
	北信越支店 新潟県新潟市
	東北支店 宮城県仙台市
	北海道支店 北海道札幌市



営業拠点 51営業所、30出張所、20工事事務所  
89製造販売拠点、1国外営業所

### 【関係会社】… 連結対象

地域舗装会社	…	34社
国内直轄子会社	…	5社
海外直轄子会社	…	2社
その他	…	2社

## 事業拠点のご案内

### 《国内拠点(単体)》

- 本社
- 支店
- 営業所
- アスファルト合材センター・アスファルト乳剤工場
- 技術研究所
- 東京機械センター

### 《海外拠点》

- ミャンマー営業所
- タイ日本道路(株)
- 日本道路マレーシア(株)



### 《国内直轄子会社》

- ・エヌディーリース・システム株式会社  
総合リース業、各種資材販売、  
コンピュータソフトウェアの開発及び  
販売、事業用機器の販売
- ・エヌディック株式会社  
保険代理業
- ・スポーツメディア株式会社  
スポーツ施設等の企画・運営
- ・環境緑化株式会社  
造園業

### 《地域舗装会社》

日本道路単体の施工体制強化を目的に、1993年(平成5年)頃から、全国各エリアで「施工子会社」を順次立ち上げました。

当時、ほぼ全てが日本道路からの下請案件でしたが、その後、公共工事の地元要件強化(地産地消)の流れから、地域に根ざし、各社の「独自性」をより鮮明に打ち出した現在の「地域舗装会社」へと発展し、2022年3月末現在、全国各地に34社展開しています。

各地域舗装会社は、日本道路単体の営業所に隣接して事業所を構えています。

高い舗装技術

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

12 つくる責任 つかう責任

【JARI ADAS※1試験場新設工事】

一般財団法人日本自動車研究所(JARI)は自動車に関する総合的な研究を行う組織として、自動車産業の発展に寄与してきました。当社はJARI城里テストセンター(茨城県)で自動運転をはじめとする先進技術の試験を行うADAS試験場新設工事を施工中で、6月末に竣工を迎えます。本施設を利用する自動車関連企業に当社の高い舗装技術を提供してまいります。

※1 ADAS  
(Advanced Driver Assistance Systems 先進運転支援システム)



JARIテストコース詳細図

ADAS試験場新設工事

完成予想図

※設計軸荷重 5t

完成予想図

基礎・中間層施工状況

舗設用型枠設置状況

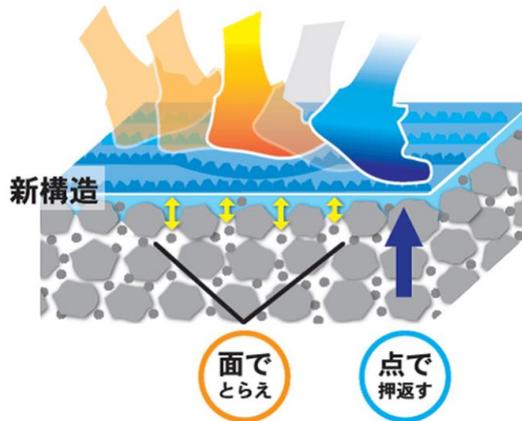
【 ADAS試験場新設工事 】 JARI ホームページより

# 快適歩走

3 すべての人に健康と福祉を

## ウレタン系弾性舗装

陸上競技場でエンボス層として使用されているウレタン樹脂を透水性アスコンの表面空隙部に充填し、エンボス仕上げを行うことで、ランナーや歩行者の足腰に負担が少ない「人に優しい舗装」です。



新居浜市滝の宮公園再整備工事

《用途》

- 教育施設（校舎周り、多目的広場） ●公園施設（遊歩道、遠路、広場）
- レジャー施設（遊歩道、回廊） ●病院施設（病院周り、歩行者通路）
- 競技場周辺（ウォーキング&ジョグコース） ほか



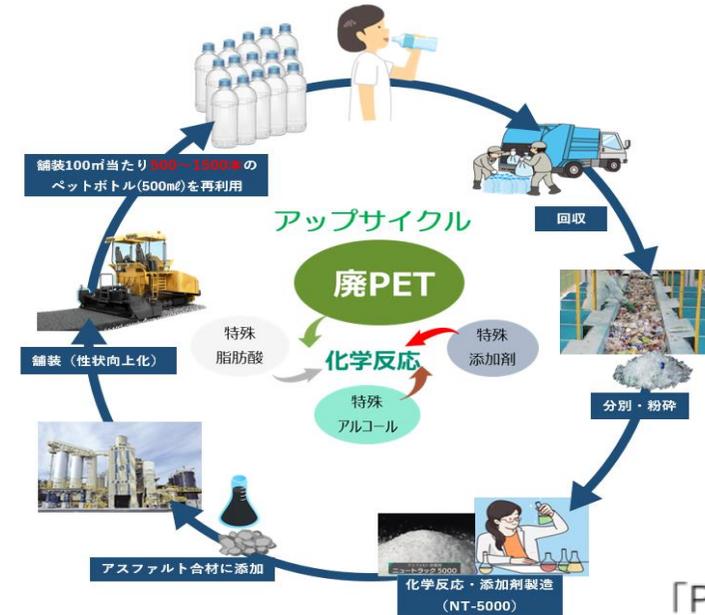
「快適歩走」

# PETアスコン

9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	14 海の豊かさを守ろう
-------------------	------------------	---------------	--------------

## SDGs達成に向けたリサイクル工法

アスファルト混合物の改質剤として、回収した廃PETボトルに化学処理を行い、製品化しニュートラック（NT-5000）を使用したアスファルト混合物です。廃PETを再生利用するため環境負荷低減に寄与します。



「PETアスコン」



100㎡当たり  
500ml PETボトル  
1500本使用可能

環境貢献  
+  
高耐久舗装

※ニュートラック（NT-5000）は花王が製造しました。

## 日本道路グループの環境負荷低減に対する取り組み

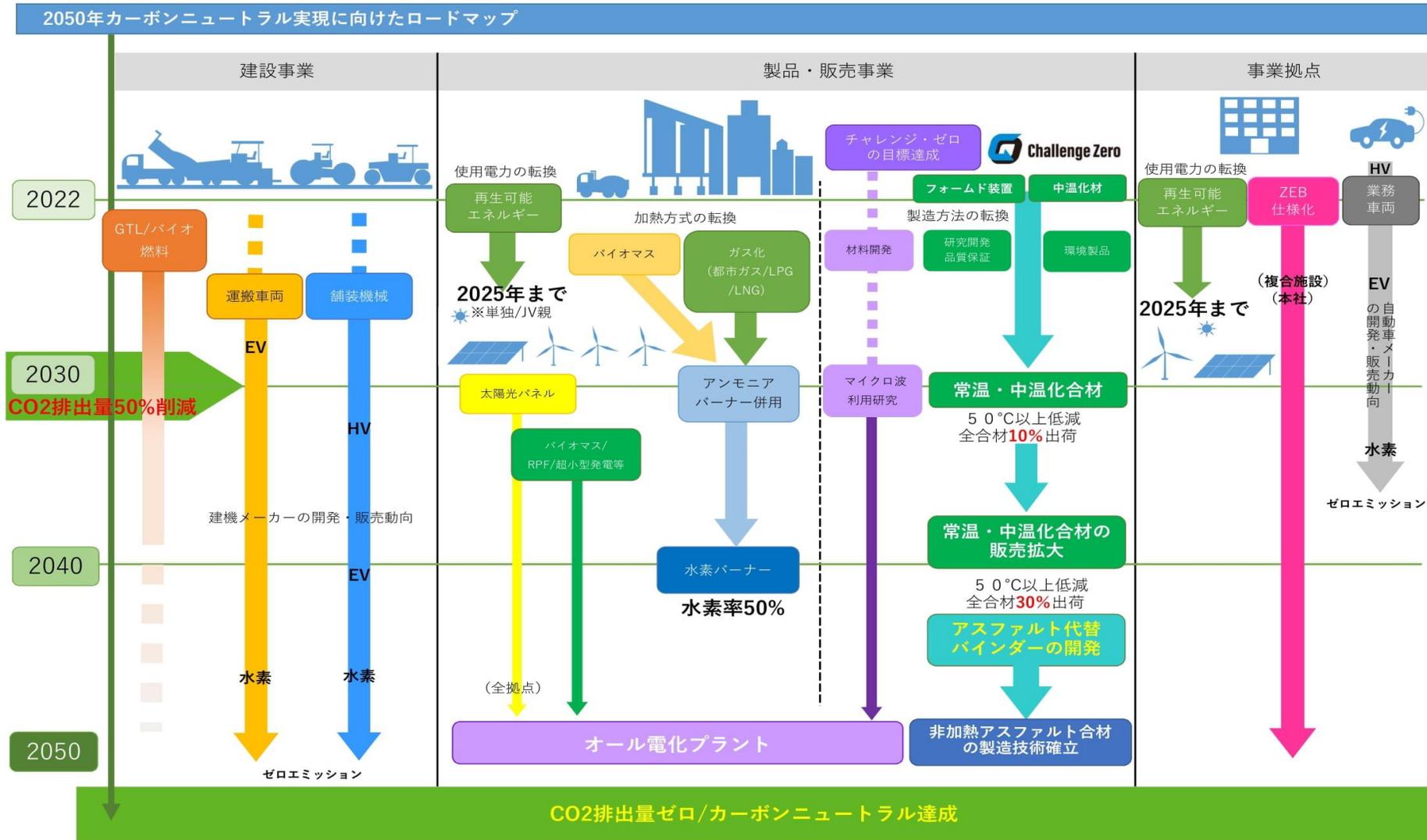
日本道路グループの取り組み	これまでの経過・進捗	アクセス
 <p>【Nichido Blue &amp; Green Vision 2050】</p>	<p><b>Our Responsibility</b> –美しく豊かな地球を次の世代に–                      環境負荷低減により持続可能な「道づくり」「街づくり」に貢献する。                      2050年までに当社グループが解決すべき環境課題に対して「環境ビジョン」を策定、「カーボンニュートラルの実現」「循環型社会の形成」「生物多様性への配慮」として取り組むべき3つの行動指針を制定した。                      2021年8月</p>	
 <p>【エコ・ファースト】</p>	<p>環境先進企業としての取り組みを促進することを目的として、企業が環境大臣に対し、地球温暖化対策、廃棄物・リサイクル対策、生態系保全など、環境保全に関する取り組みを約束し、環境先進企業であることを、環境大臣が認定するという制度で当社が道路舗装業界で初めてエコ・ファースト企業として認定された。                      2022年2月</p>	
 <p>【気候関連財務情報開示タスクフォース】</p>	<p>TCFD提言への賛同を表明し、TCFDコンソーシアムに加入。TCFDの開示基準に基づいて統合報告書2021、HPで開示している。                      2021年10月</p>	
 <p>【チャレンジ・ゼロ】</p>	<p>経団連が推進する脱炭素社会を目指す構想「チャレンジ・ゼロ(チャレンジ ネット・ゼロカーボン イノベーション)」に中温化技術をさらに進めた「アスファルト舗装材料の化石燃料を使用しない低温混合技術」を長期的な開発テーマに掲げて参画した。                      2020年6月</p>	
 <p>【サーティ・バイ・サーティ】</p>	<p>2030年までに陸と海の30%の保全を目指す国際的な目標である「30by30(サーティ・バイ・サーティ)目標」達成に向け、環境省が主導し、企業・地方自治体・団体によって構成された有志連合。                      環境ビジョンの一つである「生物多様性行動指針」の取り組みを推進するためこのアライアンスに参加した。                      2022年3月</p>	

◆ 環境提案工法マトリクス

環境ビジョン	配慮項目	材料による環境配慮		施工時の環境配慮		供用時の環境配慮		備考
		配慮事項	工法	配慮事項	工法	配慮事項	工法	
カーボンニュートラルの実現	舗装技術	CO <sub>2</sub> 排出低減	セミホットペーブ ミニロードK	施工中におけるCO <sub>2</sub> 排出低減	セミホットペーブ ミニロードK			製造時のCO <sub>2</sub> 低減、車両走行抵抗低減 
				施工中におけるCO <sub>2</sub> 排出低減	リフレッシュシールMix-H	路面温度上昇抑制	シャットファルト クールファルト レインボ-エコブロックBiz レインボ-ボラストーン	路面温度上昇抑制 
				工程短縮	スーパーEpoアスコン スーパーポリアスコン	長寿命化 高耐久舗装	ウルトラペーブH スーパーEpoアスコン スーパーポリアスコン スーパーEpoグース	施工工期の短縮によるCO <sub>2</sub> 排出量の削減 高耐久化に伴う工事量の削減 
	設備技術			製造時の再生可能エネルギー利用		太陽光発電の採用		プラント設備における製造時のエネルギー利用 
		舗装延命調査	ロードキャプチャー FWD 3D-DHDV					路面調査によって路面に合わせた工法を選定し適切な延命措置を図る 
	施工技術			低燃費施工機械 ICT施工	ND-IT施工 EyeThink みはり組			機械の高性能化によって施工の効率化を図る 

◆ 環境提案工法マトリクス

環境ビジョン	配慮項目	材料による環境配慮		施工時の環境配慮		供用時の環境配慮		備考
		配慮事項	工法	配慮事項	工法	配慮事項	工法	
循環型社会の形成	リサイクル技術	資源の再利用	再生As混合物					再生As合材、再生コンクリートの利用 
		資源の再生活用	PETアスコン レインボーエコブロックBiz レインボーウッドMg					廃PETやグリーンビズを再利用して商品に活用 
	廃棄物の低減および抑制	切削量の低減	リフレッシュシールMix-H					舗装改修時における廃棄物の低減 
生物多様性への配慮	生息系の多様性への配慮					法面緑化 透水性舗装 自然舗装	アメニファルトSシリーズ	生息生育空間の確保 
	種の多様性への配慮			低騒音・ 低振動施工	ND-IT施工	低騒音舗装 低燃費舗装	アメニファルトSシリーズ リフレッシュシールMix-H	施工における野生生物の保全ならびに創出 
					低騒音・ 低振動による製造			
						排水抑制	ND USTシステム NDハイドロシステム レインボーエコブロックBiz	内水氾濫抑制による野生生物の保全・創出 





## 未来志向宣言

私達は、創業100年に向け、創意研鑽に励み、時代の変化をいち早く読み取り、サステナブルな社会づくりに必要とされる企業となることを、日本道路グループ役員一丸となって目指していくことを宣言します

本資料における、日本道路グループの将来についての計画や施策、業績に関する事項の記述に関しては、当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づくものであり、将来の業績は、今後の事業環境の変化等、様々な要因により、当社の見込みとは異なる可能性があります。

### 問合せ先

経営企画部長 河西 俊彦

電話：03-3571-3626